

スケジュール

※詳細は各学部及びキャリアサポートセンターの掲示板及び関連サイト情報をご覧ください。

2月上旬	長期循環型インターンシップ報告会・説明会
4月中旬	インターンシップ概要説明会
5月上旬	インターンシップ申込説明会：受入事業所リストの公表 (自己分析・企業研究を行い希望事業所を探す→富山県インターンシップ推進協議会HP参照)
5月中旬	履修申込み：所定の申込書を所属学部事務室へ提出する 受入先の調整・決定：合同事前面接の実施(希望者が多いときは、面接及び申込書等を参考に選考する)
6月中旬～	受入協定書の締結：覚書を取り交わし、事業所に対して秘密保持等を誓約する
6月中旬	インターンシップ事前指導 マナー講習(ビデオ講習)
7月上旬	インターンシップ事前指導 マナー講習(外部講師のロールプレイングによる指導)
7月下旬	事前打ち合わせ：実習生は受入事業所と必ず事前打ち合わせを行う(実習一週間前)
8月上旬～9月	インターンシップの実施：担当教員への報告・連絡・相談、終了後礼状送付
9月上旬～10月	長期循環型インターンシップの実施 インターンシップ後に引き続きICT等を利用した就業研修 キャリアサポーター(裏面参照)と協力して「14歳の挑戦」指導プログラムの立案 指導ボランティアとして「14歳の挑戦」に参加
10月上旬	事後指導：各学部で面談やレポートの作成など
10月中旬	Web 画面からインターンシップ参加報告書の入力
11月	インターンシップ学内報告会：各学部で実施・長期循環型インターンシップ報告書の作成
12月中旬	富山県インターンシップ推進協議会主催の就業体験発表会
翌年2月上旬	長期循環型インターンシップ報告会・説明会

■ 関連情報URL

【富山大学インターンシップ】

<http://www.u-toyama.ac.jp/jp/career/internship/index.html>

【富大流人生設計支援プログラム】

<http://www3.u-toyama.ac.jp/gp08/index20.html>

2011 長期循環型 インターンシップのしおり

富山大学キャリアサポートセンター

学生会館 2F

利用時間 8:30～17:15(月～金)

tel 076-445-6149

E-mail career@u-toyama.ac.jp

富山大学長期循環型インターンシップ

■ 富大流人生設計支援プログラムとは

富山県では全国に先駆けて県内全中学校が「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」を実施しており、本学のインターンシップにも平成18年度から経験学生が参加するようになりました。

富大流人生設計支援プログラムはインターンシップを行った学生が同じ事業所で引き続き、今度は企業側の目線で「14歳の挑戦」に参加する中学生の就業体験をサポートします。

この学生は**指導ボランティア学生**といいます。

中学生の支援に当たって、指導ボランティア学生のインターンシップは大きく下記の3つの段階で構成されています。

- ①インターンシップ参加
- ②事後の就業研修・学生サポーターと企画打合せ
- ③「14歳の挑戦」の指導ボランティア

■ キャリアサポーターとは

さらに本プログラムでは指導ボランティア学生のほかに、参加学生をピアサポートする**キャリアサポーター**を正課授業・教養原論演習（富大流キャリア基礎学習）で早期から育成しています。サポーターは企業及び中学校へのヒアリングによりそれぞれのニーズを把握。それを元に企画を立案しプログラムの調整役を担い、「14歳の挑戦」と連携する長期循環型インターンシップに参加する指導ボランティア学生とともにプログラムに参加します。

長期循環型インターンシップは

A：企画・調整を担うキャリアサポーター

B：実施担当の指導ボランティア

の2組が協働し行う活動です。

■ 取組実績

(2010年)

【参加企業】	【業種】
●株式会社北日本新聞社	マスコミ
●株式会社北陸銀行	銀行
●株式会社富山第一銀行	銀行
●株式会社オレンジマート	スーパー
●ANAクラウンプラザホテル富山	ホテル
●日医工株式会社	医薬品メーカー
●射水市大島絵本館	文化推進事業
●富山労働局	公務

■ 期待される効果

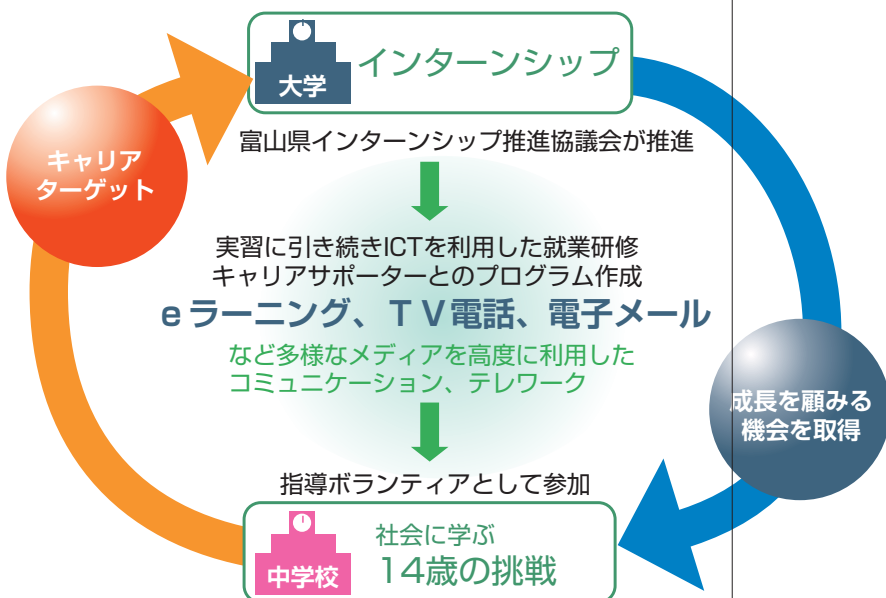
参加学生は中学生と触れ合うことで自らの成長や、インターンシップ体験を顧みる機会を獲得し達成効果を高め、中学生は数年先のキャリア・ターゲットとなる大学生と触れ合うことで将来像を獲得し、発達段階に応じたキャリア教育の学びの循環として機能します。



2010年株式会社北日本新聞社

「14歳の挑戦」参加生徒と長期循環型インターンシップ参加学生
新聞読み方指導の様子

学校種間で接続・連携する長期循環型インターンシップモデル



地 域 社 会

●参加学生のコメント

企画から実行まで全ての学生たちで行うという所に惹かれ参加した活動でしたが、実際は試行錯誤の連続でした。

しかし、その企業様ならではの活動とは何か、中学生にとって本当に意味ある活動とは何かなどのアイディアを出し合い、メンバーと納得いくまで議論し企画を練りました。

その結果得た、中学生の笑顔や活動後の達成感、苦勞を共にした信頼できるメンバーの存在はかけがえのないものであり私に「自信」をくれました。

キャリアサポーター 山崎 恵理子さん